

ARICA 第8回公演

「キャラバン Caravan」

演出・美術 藤田康城／テキスト 倉石信乃／音楽・演奏 猿山 修／出演 黒沢美香 安藤朋子

幼少から舞踊コンクールで数々の受賞を重ねつつも、それを解体するような圧倒的個性で前人未達のダンス表現を開拓し続ける黒沢美香。長年先鋭的な演劇活動を継続し、先頃第17回カイロ国際実験演劇祭で審査員特別賞である最優秀ソロパフォーマンス賞を受賞した安藤朋子。DANCERとACTRESSのスリリングな競演！ ARICA新展開、待望の新作公演！！



Theater Company <ARICA>

長年先鋭的な演劇活動を継続してきた安藤朋子をパフォーマーとして、演出の藤田康城、詩人・写真批評の倉石信乃、作曲家でコントラバス奏者猿山修、グラフィックデザイナー山口信博と須山悠里、テキスタイルコーディネーター・デザイナー安東陽子、プロデューサーの前田圭蔵、この8人を中心としたシアター・カンパニー。2001年より、身体とテキスト、音、装置の関係を根底からとらえ直す演劇実験を継続している。また機会あるごと上演会場に特別な空間を求め、その性質を見極めた、いわば「空間」とのコラボレーションを展開している。2002年、江東区にあった昭和初期の建築、佐賀町食糧ビルのRICEGALLERY（旧佐賀町エキジビットスペース）。2003年、群馬県桐生市では大正期の織物工場であったノコギリ屋根工場で、2004年は、1929年に竣工した旧富士銀行のホールで公演を行った。また、2005年には初めての海外公演として、第17回カイロ国際実験演劇祭に参加し、審査員特別賞である最優秀ソロパフォーマンス賞を受賞した。今回は渋谷にオープンしたばかりのアートスペースでの公演となる。過去の主な上演作品は『Homesickness』『Parachute Woman』『Kawase』等。

黒沢美香

1957年横浜出身、舞踊家族に生まれる。82年までは派手に数々受賞。82～85年の渡米生活からダンスがねじれる。85年から黒沢美香&ダンスーズを名乗りstudio 200, ジャンジャン, STスポット等の小スペースで異なるジャンルのアーティスト等と即興性をベースとした作品の反復／連続上演を15年間継続。99年ソロデビューと称して長編ソロダンス『薔薇の人』シリーズを開始、これまでに6作品を上演。03年無国籍民族舞踊という強引なジャンルを設定し自ら黒沢美香を否定／偽装する別名”風間るり子”活動開始。活動歴が長くなりコンボラダンス界のゴッドマザーと呼ばれている。

トーキョーワンダーサイト渋谷とは

2005年7月オープンした東京都のユニークなカルチャー・スポット。新たなアート&カルチャー発信基地として今最も注目を集めている。公園通り、パルコPart2の道を挟んで向かい、渋谷区勤労福祉会館内。話題の「kurage 和カフェyusoshi」を併設。

料金

前売 ¥4,000／当日 ¥4,500

学生 ¥2,500（当日学生証をご提示ください）

全席自由 受付開始は開演の30分前より

お問合せ／チケット予約

トーキョーワンダーサイト渋谷

TOKYO WONDER SITE Shibuya

tel. 03-3463-0603

(AM11:00→PM7:00 月曜日休館、ただし4/17をのぞく)

e-mail info@caravan-tws.com

URL <http://www.tokyo-ws.org>

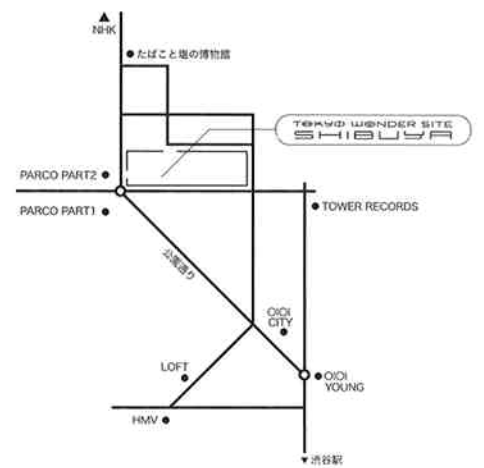
※会場の席数が大変少ないので、なるべくお早めにメールあるいは電話で事前にご予約下さい。
※ご予約のない方は、やむをえず当日の入場をお断りすることがあります。

主催

ARICA / TOKYO WONDER SITE

制作協力

カンパセーション



(写真左上) ARICA 『Parachute Woman 桐生ノコギリ屋根工場』
(左下) ARICA 『Kawase』 撮影/宮内 勝
(右上) 黒沢美香 『ロマンチックナイト』撮影/高橋成忠
(右下) 黒沢美香 『桃の園』撮影/田中英世